

# Report from the EDGE

ディスレクシア (Dyslexia) とは……………

知的に問題がなく、聴覚、視覚の知覚的機能は正常なのに、読み書きに関して特徴のあるつまずきや学習の困難を示す症状のことをいいます。

EDGE は……………

ディスレクシアの正しい認識の普及と教育的な支援を目的とした特定非営利活動法人 (NPO) として、2001 年 10 月に認証・設立され、活動しています。

## 英国ディスレクシア協会 (BDA) でポスター発表

温泉で有名な英国ヨーク州のハロゲートにて英国ディスレクシア協会 (BDA) の国際会合が 6 月 2 日から 4 日まで開催されました。もともと 4 月 29 日からの予定でしたがウィリアムとケートさんの結婚で急遽延期となりました。今回は日本からも多くの参加者がありました。最初の基調講演は上院議員のアディントン卿です。世襲制ではありますがディスレクシアを持つ彼はディスレクシアに関するいろいろな法律を立案し、議会で擁護してきました。法律ができてそれが着実に施行さ



ポスター発表にて

れていることを見守り、推進していくのは保護者や団体がなさなければ意味が無いという言葉が印象的でした。

エッジ理事の館野智恵子さんと私は「どうして Japanese にとっ

て English を理解し受け入れるのが困難か? どうして Japanese にとってディスレクシアを



「BDA 展示場にて上院議員アディントン卿を囲んで (左から室橋教授、ワイドル教授、アディントン卿、藤堂、館野理事)

理解し受け入れるのが困難か?』というテーマでポスター発表をしました。Japanese は日本人とも日本語とも受け取れ、English は英語とも英国人とも受け取れる、ちょっと皮肉も込めたタイトルです。日本語と英語の違い、日本における英語教育、日本文化の中で英語が占める位置、そして日本文化の中でのディスレクシアの位置づけなどを発表しました。かつて日本語ではディスレクシアは無いということがまことしやかに語られていましたが、それに少しは異論を唱えることができたかと思います。(文責：藤堂栄子)

### クラスで気になる子の支援 ズバツと解決ファイル

達人と学ぶ! 特別支援教育・教育相談のコツ

阿部利彦 編著 四六判・208頁・定価1,785円

クラスの中にある様々な「気になる子」。その理解の仕方や支援の方略を、それぞれの分野の「達人」たちがわかりやすく紹介。特別支援教育だけでなく、教育相談・生徒指導などにも活用できる 1 冊。

#### Information

本書の続編となる「ズバツと解決ファイル NEXT LEVEL」が、月刊誌「児童心理」にて鋭意連載中! また、ブログ連載「電脳・ズバツと解決ファイル」も同時進行で連載中。www.denzuba.com にアクセス!

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-3-7



金子書房

☎ 03-3941-0111(代) FAX 03-3941-0163  
URL http://www.kanekoshobo.co.jp

#### 目次

- P1 英国ディスレクシア協会にて「日本人と英語とディスレクシア」でポスター発表
- P2 「JDD ネットと被災地」東日本大震災派遣支援チームより
- P3 10周年パーティー、キッズ&ティーンズクラブ:夏のワークショップ
- P4 LSA「学習支援員制度」の普及、LSAフォローアップ講座
- P5 LSA「民間LSA資格」講座の開始、ミニ知識「知って得する」
- P6 成人のディスレクシア「就労」WAMワークショップ、発表会
- P7 Personal Story「DX的な惣菜店」を開店、各事業の成果発表イベント
- P8 絵はがき・カレンダー、ソープさん来日情報、フジテレビの特番、活動紹介

## JDD と被災地

はじめに、今回の震災に関し、改めて犠牲者の皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、支援活動を行っている方々に敬意を表し、被災された方々が少しでも早く安寧な生活を送ることができますよう、お祈りいたします。

震災から2ヵ月後の2011年5月7日から13日（7日間）にかけて、日本発達障害ネットワーク（JDD ネット）の東日本大震災・被災地派遣チーム（第2陣）に参加させていただき、岩手県・宮城県を訪問しましたので、現地でうかがいましたお話や、個人的な所感などについて述べさせていただきたいと思っております。

津波被害のあった沿岸部は、連日、メディアで見聞きしてきたように、津波が押し寄せてきたかどうかで被害の状況がかなり異なりました。実際に、がれきの中に立ちますと、その被害の甚大さに圧倒されました。震災から2ヶ月経った現在も、非日常が続いており、そういう中で、生活を取り戻そうとされている状況でした。

発達障害のある方の状況についてですが、岩手・宮城の沿岸部では、知的障害のない発達障害児者の情報については、ほとんど得ることができませんでした。というのは、「障害」という言葉への偏見や抵抗感が強く、震災前から、アスペルガーなどのいわゆる高機能自閉症の診断は多くなかったということです。また、震災後2ヶ月現在では、安否確認を終えつつある段階であり、個別のニーズ把握については、これからの課題になっていました。ディスレクシアのために困っているというお話も聞かれませんでした。



東北の方々は、がまん強いとよく耳にしましたが、実際、自閉症のお子さんをお持ちのお母さんは、「私よりもずっと大変な人がいるから」と、周囲に助けを求めることも遠慮されて、大変なご苦労をされていました。しんどさを吐き出す場がなく、地域で孤立していかないか、とても心配です。また、支援者の方も被災者であり、相当な疲労感やストレスを抱えており、学校の先生やNPOなど、現場で活躍されている方々は、使命感や責任感と、現実には動ける範囲や裁量権などとの間で葛藤されていました。

今後は、中長期的スパンで心理的・物理的、社会的支援が継続されていくことが必要だと思います。また、今回被災していない地域についても、普段から互助や共助が機能するような社会を作っていくことが、災害などの緊急時に、特に、社会的に弱い立場にある人たちにとって安心でき、孤立を防げるような基盤になるのかと思いました。

文責：鈴木さとみ

（国立障害者リハビリテーションセンター  
発達障害情報センター）

詳しくは <http://www.jddnet.jp>

# 皆さま応援ありがとうございます

## EDGE10 周年記念パーティー

おかげさまで3月4日(金)に英国大使館のニューホールにて100名以上の方に参加いただきEDGE創立10周年記念パーティーを開催することができました。

ディスレクシアの啓発活動に寄与した上野一彦先生(東京学芸大学名誉教授)と杉本亜未様(『ファンタジウム』作者)に感謝状をお渡ししました。本来でしたら今日の日があるのは多くの方のお力添えのおかげです。一人一人に感謝状をお渡ししたいところですが、この場をお借りして御礼申し上げます。

インターネットラジオで、パーティーの様子を放送中です。

[http://www.voiceblog.jp/dx\\_station/1344688.html](http://www.voiceblog.jp/dx_station/1344688.html) [http://www.voiceblog.jp/dx\\_station/1347527.html](http://www.voiceblog.jp/dx_station/1347527.html)

## 『ファンタジウム』の作者 杉本亜未さんから (講談社のモーニング・ツーに連載中)

私の描いている『ファンタジウム』は、ディスレクシアの少年が主人公です。彼は圧倒的な才能を持つ天才的なマジシャンでありながら、数多くの苦難に直面しています。私はこのマンガを描くことによって、世間の人々に認知されていないディスレクシアというものが、広く知られるようになればいいと思っています。そして、人々に知識がないゆえに出てきてしまう偏見や、自身でもディスレクシアであることを気づいていない方々が、私の作品を読むことで、

少しでも自由な考えを手に入れることができ、少しでも楽に生きられるようになってほしいと願っています。本日は、まさに『ファンタジウム』の原稿の締め切りが迫っている状況で、やむなくこのような素敵な会を欠席せざるを得ませんでした。またの機会に皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

杉本亜未



## この会のご寄付は 818,684 円にのびりました

パーティーへ、物品・サービス等を寄付していただいた方は、以下のとおりです。

村松洋一 (桜デザインのスクリーンセーバー)  
三遊亭楽麻呂 (非売品手ぬぐい、扇子)  
酒井亮裕 (パーソナルトレーニング)  
堀田隆佳 (ルーマニアワイン)  
藤堂高直 (記念日カードデザイン)  
山田真嗣 (ジャミンゼップペアライブチケット  
クグロフ)  
ギャラリー江夏 (ソープさん絵画 クリアファイル)  
サントリー (アルコール)  
カルピス 上野峰広 (ソフトドリンク)  
ギャバン 田中宏幸 (カレーパウダー)  
アイエスエフネット 渡邊幸義 (生花)

黎明学園 西村 清 根本明彦 (鉢植え花)  
杉本亜未・笠井俊純 (ファンタジウム漫画本、色紙)  
イートンカレッジ (聖歌隊 CD・パーティ会場代他)  
原田好美 (オリジナル絵本)  
春日秀文 (エルセイボ チョコレート)  
藤本和也 (ハロックスセット)  
深川 猛 (ローズマリー)  
稲葉七海 (セルフプロデュース カレンダー)  
砂長美ん (ユーロデリ 商品券)  
上西英之 → ドライバー  
谷光 章 → ビデオ・カメラ撮影  
夏ひろ子 → 司会

## キッズ&ティーンズクラブ:夏のワークショップ (東京南ロータリークラブ協賛)

- 7月17日(日) 「あなたも放送タレントに」 時間: 13:00 ~ 15:00  
場所: 港区ヒューマンプラザ 講師: 夏ひろ子さん (締切: 7月8日)
- 7月23日(土) 「あなたもクリエイターに」 時間: 9:30 ~ 11:30  
場所: 有栖川公園 講師: 村松洋一さん (締切: 7月8日)
- 8月1日(月) 「あなたもエンターテイナーに」 時間: 10:00 ~ 12:00  
場所: 地域活動室 講師: 生貝隆さん (締切: 7月25日)

- 料金: 1000円 (一回)
- 詳細は <http://www.npo-edge.jp> で更新します。お申込はメール: [dxheart@npo-edge.jp](mailto:dxheart@npo-edge.jp) 又はファックス: 03-6240-0671 でエッジ事務局へ。



## 学習支援員制度の普及

日本財団から助成をいただき、3年目に入って大きく動き始めました。

もともとはそれぞれの土地でリーダーになっていただく方たちの養成をして、その上で学習支援員制度をそれぞれの土地にあった形で普及していくという目的で始めました。

結果として思ったよりも早くから取り組みが各地で始められ、それぞれの土地の事情に合わせた発展を見せてきました。

- 1) 名古屋ではカシオペアという組織ができて、養成講座を数回すでに開催して、教育委員会と連携しながら通常学級の中に支援員が配置されるという方向で動き始めています。
- 2) 宮崎では……今年2月に学習支援員講座をせいさ教育研究所とエッジが共催する民間LSA資格認定講座の前期を6名が終了しました。

私が行ったときはちょうど1月26日新燃岳が爆発したときでした。次の日も大爆発をしたときは講義中で、音はしないのに窓ガラスがガタガタとゆれていたのびっくりしました。

飛行場では、この後は飛行機が飛ばないとアナウンスがありましたが、私の乗った便が最後の便

になりました。

噴煙でドス黒い部分と南国宮崎の青空がくっきりと二つに分かれる境目を飛び出しました。

話を元に戻すと、また夏に前期・後期と通しての講座を予定しています。今度は実際に支援に入っている方たちからの話も聞けると良いなと思います。各地で同じ事を学ぶ部分と、その土地ならではの支援の連携があると考えるのでできるだけ地元のリソースを活用して、支援員が増えていくことを願っています。

- 3) 明石でも支援員養成講座をリボンネットが開催しています。教育委員会との連携も着実に一歩ずつ進んでいます。10月にもまた養成講座が開催されます。
- 4) 川越では埼玉大学のしいのみ学園と連携して10月に講座を開講する予定です。
- 5) LD学会でも自主シンポジウムをいたします。
- 6) 日本財団からの助成金で進めている事業について中間報告を作成しました。各所の取り組みを簡単にまとめたものです。

(日本財団助成事業)

(文責：藤堂栄子)

## LSAフォローアップ講座 一般参加募集

2011年8月28日(金)

- 講師 **上野一彦** 先生  
(東京学芸大学名誉教授・大学入試センター特任教授・日本LD学会理事長)

● 10:00～12:00

特別支援教育のこれからの実践課題①

初等中等教育のこれからの課題と高等教育への波及 — 大学入試と支援技術の今後 —

● 13:00～15:00

特別支援教育のこれからの実践課題②

上野先生が渋谷区で取り組まれて5年目を迎えた、学習支援員のモデル作りを通しての話、大震災で知る発達障害の話、資格問題

※場所 子ども家庭支援センター2階  
地域活動室

※LSAの参加費は無料、LSA以外の参加者は、午前・午後とも参加費¥1,000、両方参加は¥2,000

※7月から申し込みを受け付けます。周囲の関心がある方にも是非お声がけのうえ、お早めにお申込ください。

※お申込は、Fax：5401-1199  
(EDGEのFax：6240-0671もご利用ください) またはE-mail：minatolsa@yahoo.co.jp

### 学習支援員 のいる教室

通常の学級で 本体1800円+税

ナチュラルサポートを

Learning Support Assistant

藤堂 栄子 編著



どんなふうに支援するのか、現場からイキイキと伝える。支援員のすべてがわかる!

### ディスレクシア でも大丈夫!

読み書きの困難と  
ステキな可能性

藤堂 栄子 著 本体1600円+税

## 民間 LSA 資格

星槎教育研究所と共同で第一回の民間 LSA 育成講座を開催することができました。東京都港区で実績を上げているシステムと星槎教育研究所が持つ講師陣や地方都市の学習センター・テレビ会議というリソースを活用して、さらに多くの都市で研修を受け、力のある学習支援員が通常学級内で活躍できるようにと願ってはじめてました。

第一回の前半は宮崎と横浜をテレビ会議でつないで行いました。東大先端研はじめ第一線で発達障害のことにそれぞれの分野で関わっている講師

の話は刺激的でしばし主催者でありながら聞きほれていました。また、この講座は座学だけでなくワークショップや体験、ロールプレイなど参加型の講座なので講座を受ける仲間から学ぶことも多くあります。

次は宮崎で7月25日から29日(前半)と8月8日から12日(後半)で開催します。個々で得た知識や経験は通常学級内の支援だけではなく、家庭教師、塾の講師、家庭内の支援など広く応用できますのでご興味のある方はぜひご連絡下さい。

(文責：藤堂栄子)

ミニ  
知識

## 「知って得する」

### 手書き履歴書のメリットはない

日本には書経のように「履歴書の手書き文化」があります。成人ディスレクシア就労事業でも、その必要性が話題に上りました。書類のデジタル化が広がっているのに、今更、「履歴書の手書き」にこだわるのはいかなもののでしょうか。もしこの慣習を辞めると年間27万本の木が節約できるそうです。

海外就職日誌『国境なき就職活動』

ここへ JAPAN (2011年5月2日)の記事から

### 大学入試の支援措置

キッズ&ティーンズクラブに通っていた元生徒が診断書を大学入試センターに提出し、センター試験で、発達障害配慮【時間延長(1.3倍)、試験問題拡大(1.4倍)、別室受験】を認められました。私立大学(早稲田大学、法政大学など)でも同様の支援がありました。ディスレクシアでお困りの受験生にとっては大きな支援です。詳しくは大学入試センターへ。

<http://www.dnc.ac.jp/modules/research/content0003.html>

### 衆議院の議事録作成に

### 音声認識システム - 京大開発の技術 -

ディスレクシアの人々が仕事で苦手なものの一つに議事録作成があります。音声認識システムは以前からありましたが、その精度となると疑わしく、校正に時間がかかりました。そのため、人が「テープ起こし」をしたほうが速いぐらいでした。ただでさえ読み書きが苦手なわれわれには拷問でした。音声認識システムが衆議院の議事録で実用化されて、広く一般化すれば、悪夢から開放されます。

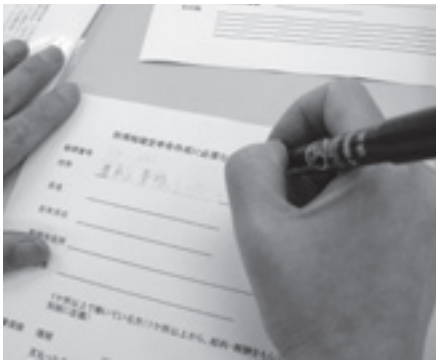
朝日新聞(2011年5月13日)の記事から



## 成人のディスクレシア「就労」

### WAMワークショップ

2011年2月20日(日)、第34回DX会&第6回成人DX就労事業ワークショップは14人(男9名、女5名)の出席で、地域活動室で行われました。今回の就労ワークショップは「確定申告」の話でした。ディスレクシア当事者6名全員、確定申告をする必要がありました。読み書き、計算が苦手な人々の集まりですので、どうなるか、ハラハラドキドキでした。公認会計士の吉川洋志



さんから「所得確定申告必要なインフォメーション」という用紙を渡され、簡単にわかりやすく説明があり

ました。まず用意してきた「給与源泉徴収票」「報酬支払調書」「社会保険料支払証明書」「生命保険支払証明書」などのコピーを基に、書き込んで行きました。後は各個人によって微妙に違うので、吉川さんに質問しながら、確定申告用紙に記入すると確実に話は進みました。会社を通じてすでに申告してしまった人やまだ源泉徴収票をもらっていない人を除いて、税務署にそのまま申請可能な書類を作ることができました。ディスレクシア当事者が一番苦手とする作業も、このように専門家に支援していただくと、恐れるほど困難ではありませんでした。勇気を持って得意な仕事に従事できます。

(独立行政法人福祉医療機構助成金事業)

(文責：柴田章弘)

### 就労事業発表会報告

2011年3月27日(日)、第2回成人DX事業発表会は30人(男17名、女13名)の出席で、地域活動室で行われました。発表会前半は藤堂会長がプロジェクトの解説、榎本さんが二年間の流れと展開を話しました。改めて、全体を考えると12回のワークショップの積み重ねが大きな成果を生んできました。

後半は当事者6人(男5人、女1人)が二年間、培ってきた実績を発表しました。最初に、柴田がワークショップを収録して、編集、放送されているインターネットラジオ「DXステーション」を内容順に説明しました。次に障害者手帳を取り、食品関係に就職を決めたFさん。清掃消臭剤の営業を続け、仕事の能率が上がるようになったTさん。イギリスで建築を学び、日本で就職したTTさん。ワークショップで培ったノウハウを活かし、

惣菜店を開業したSさん。ゲームデザイナーから障害者施設の介助員に転職したMさん。6人が6通りの説明方法で、2年間の変化を語り出すと、会場は緊張感よりも癒し感が漂いました。



最後に会場から、「職場でディスレクシアは認められているか」という質問に対して、5人の当事者が「職場で認められて、働いています」と語ったのが、このワークショップの効果だったように感じました。

(独立行政法人福祉医療機構助成金事業)

(文責：柴田章弘)

## Personal Story 「DX的な惣菜店」を開店：砂長美ん

成人ディスレクシア就労事業の当事者で、起業をする人が出てきました。2月から砂長美んさんの惣菜店「EURODELI」は東京、代々木で営業を始めました。たちまち評判になり、昼食時には多くのお客さんと賑わっています。

### いつごろから惣菜店を始めようと思いましたか。

昨年の7月のユニバーサル・ベンチャープラン・コンテストの最終選考にノミネートされてからです。最初は外国人相手の土産物屋の企画書を作りましたが、担当者に非現実的だと指摘されました。再度、自分の資質を考え直して、得意な「料理」から起業のアイデアが生まれました。最終選考の11月に準グランプリに選ばれました。

<http://universal-venture.jp/2/report/101121.html>

### なにか、今までの仕事と変わったことがありましたか。

ヘアメイクの仕事は不定期な仕事でしたが、惣菜店では毎日、お店で販売しなければなりません。そこで仕事に対する取り組み方が変わりました。

### どんなワークショップが役に立ちましたか。

特に昨年、夏合宿の「自分自身を深く掘り下げるワークショップ」は有効でした。「英語」とか、「外国」などのキーワードはありましたが、得意なことを探し出すために大きなヒントとなりました。

### ディスレクシアの人々にどんなメッセージを送りたいですか。

同じ悩みを持つ友だちを作ることをお勧めします。自分が悩んでいることを解決するヒントを持っている人々が大勢います。ディスレクシアを支援してくれる人々が出てきたのは最近です。もう少し多くの人々の理解があれば、すごく楽ですが、まだまだ不十分なので、一緒に啓発や支援をして行きたいものです。もし就職先がなくなったら、EURODELIで働いてみませんか。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.eurodeli.jp/>



大好評の惣菜店「EURODELI」

## 各事業の成果発表イベント

### ◇日本LD学会第20回大会

9月17日から19日 @ 跡見学園大学

### ●大会企画シンポジウム

9月18日(日) 15:30～17:30

### 「成人した発達障害の現状」

～生きる力を育む就労支援と継続

ーディスレクシアの場合

WAMの助成で行った当事者たちのハッピーな就労への軌跡

### ●自主シンポジウム

9月17日(土) 13:00～15:00

「通常学級における学習支援員制度の普及」

～異なる性格の4都市へ、そしてその向こうに～  
日本財団の助成で行っている学習支援員制度の普及について

### ◆JDD ネット第7回年次大会

12月4日 @ 成蹊大学

### ○企画

「高等教育－入試センター試験から入学後の支援(仮)」

実際に新しい制度を使って入試に挑戦した青年も参加します。

## 絵はがき

大好評のマッケンジー・ソープ氏シリーズ第5弾が発売中です。12枚入り1,000円(税別)です。心のこもったメッセージとともに送ってください。



## 2012年度版カレンダー

これまでマッケンジー・ソープ氏のカレンダーをトードン社の作成によりNPO法人エッジで販売させていただいておりましたが、2012年度分より当方独占にて制作、販売することになりました。他では手に入らない商品で、壁掛けタイプから卓上タイプへ変更としました。印刷、製本はトードン社にお願いいたします。ご希望でしたら名入れは正面下にお入れできます。一部1,000円(税別)、10部以上部数により割引いたします。

### 卓上型

折りたたみ式 15cm(縦)×17cm(幅)×5mm(厚)

あけた時 14cm(高)×17cm(幅)×8mm(厚)

### ● 8月にソープ氏が来日

瀬戸内国際子ども映画祭(8/20～28)のシンボルマークのデザイン、映画祭の審査員、展示会、ワークショップなど多岐にわたるイベントに精力的に参加します。

### ● ディスレクシアがフジテレビ「とくダネ」で放映

6月14日(火)、「とくダネ」でエッジが取材を受け、様々な年代のディスレクシア当事者の実像が放映されました。番組終了後、さまざまな問い合わせがあり、その影響の大きさに驚きました。

### 最近の活動紹介

3月4日 NPOエッジ10周年記念パーティ  
3月10日 NHK取材  
3月11日 LSA説明会  
3月13日 WAM実行委員会月準備員会  
3月24～25日 LSA説明会  
3月27日 WAM発表会(30人)

4月7～12日 ソープ絵画展(奈良など)  
4月21日 東京南ロータリークラブ「目録贈呈」  
5月15日 第35回DX会@ジョイコンサルティング  
6月2～4日 BDAでポスター発表(イギリス)  
6月27日 文部科学省デジタル発表会

### 今後の活動紹介

7月8日 理事会  
7月10日 第36回DX会@ジョイコンサルティング  
7月12日 授業:上石神井中学(藤堂)  
7月17日 K&Tクラブ ワークショップ 夏さん  
7月23日 K&Tクラブ ワークショップ 村松さん  
7月25～29日 民間LSA@宮崎 前期+(日本財団)  
7月28日 LSAフォローアップ講座  
8月1日 K&Tクラブ ワークショップ 生貝さん  
8月2日 LSAフォローアップ講座(講師 上田先生)  
8月2日 名古屋(日本財団)  
8月3日 四日市 講演  
8月6～7日 DX会合宿(@大磯星槎)  
8月8～12日 民間LSA@宮崎 前期+(日本財団)  
8月16～21日 ソープ氏来日  
8月18日 ソープ氏 チャリティーパーティー@横浜  
8月26日 LSAフォローアップ講座(上野先生)  
8月27日 八王子カタツムリの会 講演  
9月3～5日 明石(日本財団)

9月4日 明石LSA講座  
9月15～16日 リーダー研修(15日藤堂、16日上田)(日本財団)  
9月17～19日 日本LD学会(シンポ2件)(日本財団)@跡見  
10月22～23日 川越(日本財団)

### Report from the EDGE - 第26号 -

2011年7月1日発行

発行者 NPO法人EDGE

発行責任者 藤堂栄子

東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F

Tel. 03-6240-0670・0672

Fax. 03-6240-0671

編集 NPO法人EDGE 事務局 柴田章弘

印刷 株式会社 信英堂

<http://www.npo-edge.jp>

[http://blog.livedoor.jp/npo\\_edge/](http://blog.livedoor.jp/npo_edge/)

E-mail: [edgewebinfo@npo-edge.jp](mailto:edgewebinfo@npo-edge.jp)